

オリジナル焼酎カクテルによるアルコール市場の活性化 ～3つのコンセプトを用いた営業戦略～

鹿児島大学 法文学部 3年 永田涼真

インターンシップ先の紹介

白露酒造株式会社
 所在：鹿児島県指宿市
 創業：1730年
 業種：酒造製造、販売

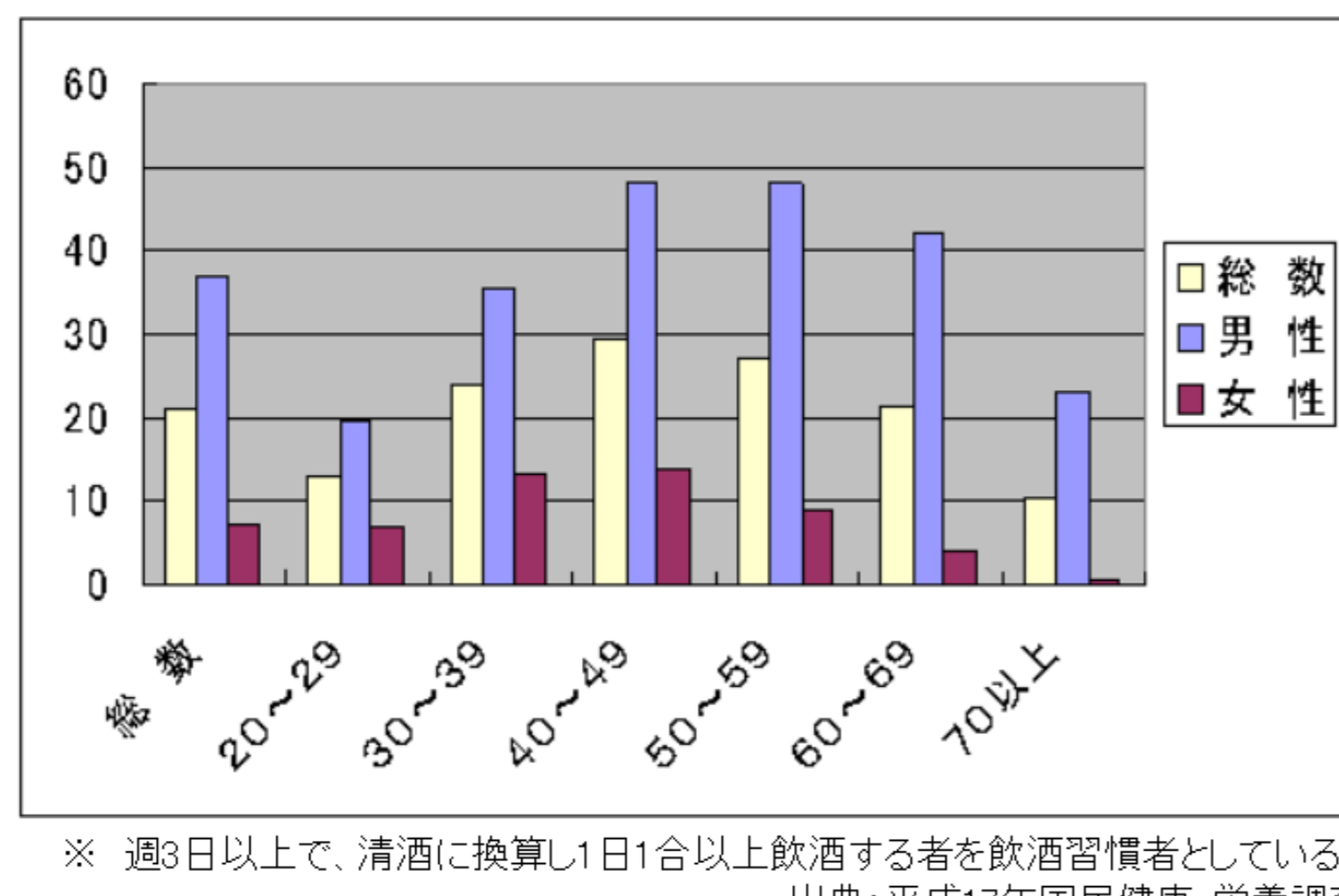
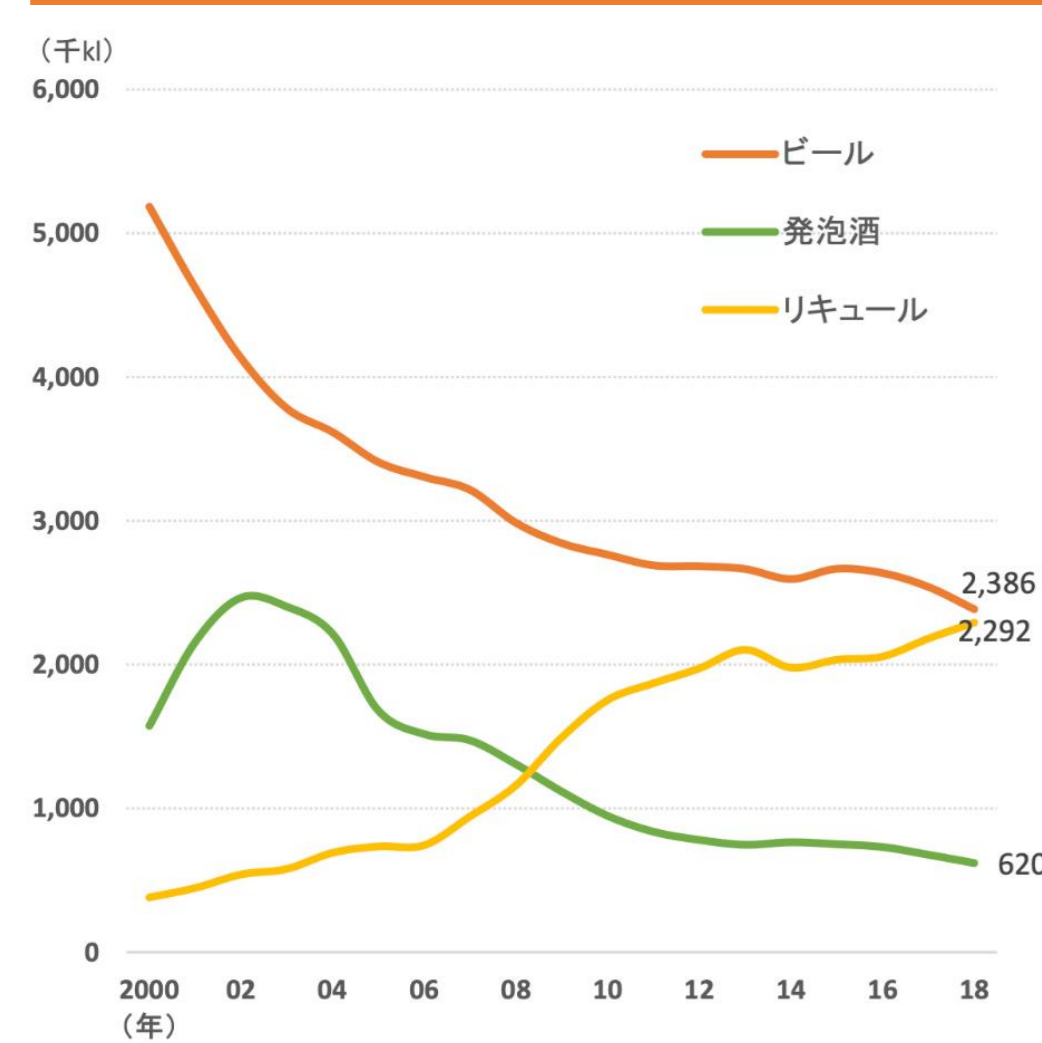


インターンシップ課題

アルコール市場は、少子化・若者のアルコール離れ等を起因とし、年々縮小している。これを打破し、アルコール市場を活性化させる必要がある。

白露焼酎を使ったカクテルづくり ～新商品提案を含めた営業戦略～

現状分析/結果



	20代 (n=1082)	30代 (n=1080)
1	チューハイ・サワー 46.5%	チューハイ・サワー 45.5%
2	梅酒・果実酒 37.7%	ビール/発泡酒/第三のビール 40.6%
3	リキュール/カクテル 28.8%	梅酒・果実酒 37.6%
4	ビール/発泡酒/第三のビール 28.7%	ハイボール 27.2%
5	ハイボール 22.5%	赤ワイン/白ワイン/ロゼワイン 25.9%
6	赤ワイン/白ワイン/ロゼワイン 21.3%	リキュール/カクテル 25.6%
7	日本酒 19.9%	日本酒 23.1%
8	スパークリングワイン 15.5%	スパークリングワイン 21.6%
9	スピリッツ/カクテル 13.6%	シャンパン 19.5%
10	シャンパン 11.7%	焼酎 16.5%
-	お酒は飲まない 18.9%	お酒は飲まない 19.1%

みんなの好きなお酒ランキング 出典：LINEリサーチ調査レポート

- ・ビールや発泡酒の主要酒類消費量は低下し続けている
- ・20代、30代の飲酒習慣の割合は少ない
- ・一方でリキュールの消費量は増加
- ・炭酸系、甘い、果実酒が好まれている

解決案 3つのコンセプトを用いた営業戦略

1. 20代後半～30代前半の男女をターゲットとしたカクテル
2. 家族3世代が楽しめる、24節気ごとのカクテル@いわさきホテル^{※1}
3. ご家庭でも気軽に楽しめる焼酎カクテルの製品化

※1いわさきホテルと白露酒造株式会社はグループ会社

1. 20代後半～30代前半の男女をターゲットとしたカクテル

- ・焼酎の消費量が少ない、若者がターゲット
- ・カップルもターゲットのため男性・女性に向けた様々な種類のカクテルを考案
- ・バーでの提供がメインなので県内の顧客や、県外からの観光客もターゲットにできる

●提案カクテル

【奄美アレキサンダー】

使う焼酎：薩摩の麦焼酎
 材料：クリームドカカオ、黒蜜生クリーム、アイス

- ・気軽に飲める一杯
- ・「オシャレ」な見た目により、客が写真を撮り、SNS等にUP
- ・カクテル言葉：冷たい心を溶かす、湧き出る愛



2. 家族3世代が楽しめる、24節気ごとのカクテル @いわさきホテル

- ・白露酒造の社名から発想し、二十四節気の名前を付け、季節に合う味わいのカクテル
- ・インターンシップ生とのコラボとしてシリーズ化
- ・家族で楽しむ焼酎カクテル（モクテル）

●提案カクテル

【大暑】

使う焼酎：薩摩の麦焼酎
 材料：すいか、パイナップルジュース、ココナッツミルク

- ・大暑（たいしょ）とは、一年でもっとも暑さが厳しい時期。夏を感じさせる果物を使用し、夏の暑さと渴きを癒す。



3. ご家庭でも気軽に楽しめる焼酎カクテルの製品化

- ・焼酎カクテルを製品で販売している競合会社は少ないため初期に珍しさから買ってくれる人が一定数いると予想
- ・商品に首掛けラベルを付け焼酎カクテルのレシピを公開

〈参考例〉

【クーリッシュフロズンサワー】

【宝焼酎のお茶割】



PR方法

1. バーで提供

- ・インターンシップ生とのコラボをプロジェクトとして、クラウドファンディング
- ・SNSアカウント宣伝



2. 24節気@いわさきホテル

- ・様々な飲食店で24節気の商品を小出し、総合的に飲めるのはいわさきホテル

3. 製品化、レシピの公開

- ・試供品の提供→スーパー・夏祭り会場・スポーツ会場で販売
- ・販売商品に首掛けラベルを掛け、レシピの公開



将来像

- ・焼酎カクテルという新しい飲み方の普及
- ・焼酎カクテルにより、若者が焼酎を飲む機会の増加
- ・低迷気味であるアルコール市場の活性化
- ・鹿児島の特産品である焼酎の消費量の増加

インターンシップでの学び

- ・焼酎カクテルの大きな可能性を感じ取ることができた。非常に飲みやすいため、焼酎を飲む機会の少ない若い世代も気軽に飲めるのではないかと考えた。
- ・今回のインターンシップでは商品を開発する過程における、メンバー間での連携の難しさや課題を乗り越えるために対話や傾聴が重要であることを実感した。また、チームで協力し良い成果を出すための自分の役割について考えることも難しかった。しかし、それと同時にメンバーで異なる価値観をぶつけ合い何かを作り上げるということは楽しく、インターン終了時には大きな達成感を感じることができた。

お礼

白露酒造株式会社の皆様

受け入れと多くのご協力
 本当にありがとうございました

